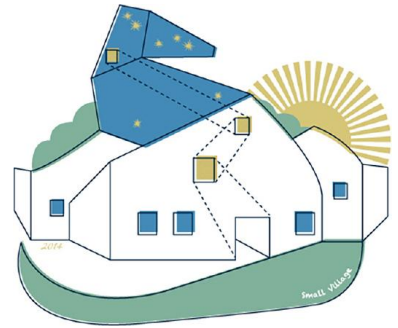


木オだよソ

社会福祉法人 東香会
しぜんの国保育園 small village

Feb. 2023



法人理念
いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

2月主題 人も心も集まって 山に響くはげましの声

2月に入りました、如月ですね。
如月には、寒い冬が終わり、春に向かって万物が動き始める時期という
意味があります。

少し寒そうな木々に小さな芽が顔を出し、ミモザや沈丁花も
色づき始めました。その小さな芽吹きに気がつくと、ついつい「待っている
よ」と声をかけたくなくなってしまいます。

この寒い時期から、春の始まりを予感させる、この季節の
グラデーションが好きです。

ばらチームのAちゃんは、園庭の温かい場所を
よく知っていると熊沢さんが話をしていました。
Aちゃんと一緒にいると、
心地よい場所でひなたぼっこができるそうです。

さむいさむい、とついつい口に出してしまいますが、
子どもたちと火を囲み、語り合っていると、
いつのまにか身体だけではなく
心も温まっています。



園長 齋藤美和

あまのり



2月の予定

自然体験(かえで)

節分

初午

乳児健診

涅槃会

避難訓練

しぜん谷の村まつり

※詳細については事前に配信している別紙をご覧ください。

自然体験(けやき)

誕生会

お知らせ と おねがい

・園の自動ドアについて

保護者同士で、エントランスの自動ドアを開ける際に不審者が侵入してしまう可能性があるのではないか？というご意見を保護者の方から頂きました。確かに相互で助かることではありますが、顔を認識していないと、不審者が入る可能性もありますので、保護者同士の自動ドアの開け閉めはご遠慮ください。

・2023年度の2次募集が始まっています

ごきょうだい、ご近所の方でしぜんの国保育園の入所を希望されている方はぜひ、事務所までお声掛けください。※2023年4月1日入園の2次申込みの締切は2023年2月3日(金)です。

じむしょ 小窓 だより

今年は寒さが一段と厳しい冬です。昨年末は子どもたちの食べ残しが気になる時期もありましたが、この寒さに負けず園庭で走り回る元気な子どもたちの食欲が旺盛になってきました。少し多く作りすぎたかな？と思う日も最近は食べ残しゼロの日がよくあります。休み明け、「給食のせんせい～給食ほんとうにおいしいよ！最高だよ～！」と私たち給食スタッフも照れてしまうくらい子どもたちが褒めてくれました。子どもたちにエネルギーをたくさんもらっている日々です。

先日、お迎えにいらしたお母さまに、いつも家ではブロッコリーは食べられないのにブロッコリーのサラダが食べれた、と子どもが言っていたのですが、ドレッシングは何味ですか？と声をかけられました。思い起こすとその日のブロッコリーはいつもより少しスチームをかけ大人には少し柔らかめでしたが、子どもたちにはとっても食べやすい柔らかさだったようです。また給食のサラダ類はきゅうりもスチームにかけたり、あらかじめドレッシングで和えているため、子どもたちには食べやすいのかもしれません。ほんの少しの手間と工夫で、苦手野菜も食べやすくなるのかもしれませんね。1月は日本のお正月ならではの伝統的な献立が中心でしたが、今年も子どもたちの食欲を満たすことのできる、見た目も楽しく飽きの来ない、そして子どもたちの今を見逃さない豊かな給食を作っていきたいと思います。



今年もよろしくお願いします。（キッチンマネージャー三木）

こども 村インタビュー

鬼退治
作戦
編

もうすぐ節分。。。。

今年の鬼退治はどうするか ...セッションを重ねる幼児組の一コマ。

「ひいらぎをゆかにまいたらいいんじゃない？」

「それだけだと、こわがらないよ」

「じゃあ、かなぼうにひいらぎをまきつけばいいんだ！」

おににてがみをかこう。

「おにさん やくそくしてね。」

きたら○ こないなら×をかいてね。」

このてがみをドアにはっておこうよ！

保育者 リレー エッセイ

第11回目の担当は、つばき組担任すいかチーム担当の熊沢未来さんです。

【いつも心の底からの楽しそうな笑い声と笑顔で、こちらまで嬉しい気持ちにさせてくれる熊沢さん。おいしいものを食べることも大好きとのこと。これまで食べた物の中で一番笑顔になったものはなんですか？】

宇野さん、バトンありがとうございます。美味しいもの、大好きです。一番と言われると悩んでしまい、お肉も野菜も甘いものも好きだし...と今まで食べた物を思い浮かべながら考えていたのですが、最近で美味しくて嬉しかった物を紹介します。

年始に鎌倉へ出かけた時のこと。小町通りを歩いていると脇道へ繋がる通路の前に「おだし専門店」の看板がありました。気になって寄り道してみることに。お店の前に立つともうお出汁の優しい香りが鼻をくすぐります。入ってみるとその香りで溢れていて、それだけでとても心地よくなりました。小さな紙コップで試飲をいただきます。飲んだ瞬間、柔らかな香りと温かな風味が広がってほっこり。思わず「美味しい！」と気持ちが言葉になって溢れました。冷えた体をじんわりと温めてくれたこのお出汁と出会えたことが嬉しくて、自分用と母へお土産に買って帰りました。翌日、買ったお出汁に野菜と餅を入れたお雑煮を作って食べ、またほっこり。目で見ても、香りを感じ、味わって...五感で楽しんだひとときが2023年の思い出の始まりとなりました。

後日、母から「お土産で渡したお出汁がとても美味しかった」と連絡がありました。私が美味しいと感じたものを誰かと同じように感じて喜んでくれたことも、嬉しい瞬間でした。私の「嬉しい」が誰かの「嬉しい」につながる瞬間は、子どもたちとの暮らしでも溢れています。自分の好きなことを教え合ったり、今楽しんでいる遊びに誘ったり、してもらって嬉しかったことを誰かに伝えて嬉しいを繋げたり、美味しいと感じた気持ちを伝え合ったり。子どもと保育者という関係でなく、そこで同じ時間を暮らしている人として、色々な気持ちを一緒に味わう瞬間がとても幸せです。

次回は...軽やかな声で子どもたちと歌ったり、鬼ごっこで思い切り走ったり、いつも全力で子どもとの時間を楽しんで過ごしている潤さん。サッカーが好きなことは知っているのですが、今年、新たに増やしたい好きなことや挑戦したいと思っていることはありますか？

かみじま のんびり 漫画劇場

「 どんど焼き 」

文・絵 かみじま たるひ

